

令和4年度 第3回春日区地域協議会 次 第

日時：令和4年6月21日(火) 午後6時30分から
会場：上越市市民プラザ 第2会議室

全体会 + 分科会 = 1時間45分

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 報告事項

○ 春日山荘における趣味講座について 【30分】

※ 発言は質問のみ。（理由：地域協議会としての意見を未整理の状態で、他団体に個人の考えを発言しない。）

(2) 自主的審議事項

〔 ・ 春日山城跡の観光振興策について （観光分科会）
・ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について （安全・安心分科会）
・ あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について （福祉分科会） 〕

○ 各分科会における審議の状況について 【10分】

(3) その他

4 そ の 他

(1) 次回開催日の確認 【5分】

- 日時 令和4年 7月 日(火) 午後6時30分から
- 会場 上越市市民プラザを予定
- 内容 （自主的審議事項）各分科会における審議の状況について
※ 閉会后、分科会を開催

(2) その他

5 閉 会

（閉会后）

■ 6/21(火) 分科会 ■

- ・ 分科会の会場 ⇒ 観光…第7会議室、安全…第2会議室、福祉…第6会議室
- ・ 分科会の開催時間は約50分。（審議終了は8時15分を目途とする。終了した分科会から随時解散）

春日山荘における趣味講座について

1 現状と課題

(1) 春日山荘の老朽化

- ・昭和50年5月、上越市社会福祉協議会（以下「社協」）が設置。築47年が経過し老朽化が進行しており、壁の剥落や雨漏り、ガス・水道配管の老朽化による機能低下・故障が頻発に発生。
- ・利用を継続する場合には大規模修繕が必要となるが、多額の費用がかかり、施設所有者である社協と市の費用負担は困難。
- ・当時の建築物のほとんどは、壁の内部にアスベストを含んでおり、春日山荘についても同様の可能性が高い。PCB(有害化学物質)含有機器も確認されており、施設利用者等に健康被害が及ぶ可能性あり。

(2) 趣味講座の必要性

- ・高齢者の生きがいがづくりや健康づくりに寄与。
- ・令和元年度に、趣味講座の自主活動化に向け、受講生と意見交換を行ったが、講師や会場確保に労力や費用が必要であり、負担が大きく困難という結論。講座の継続には、社協や市の支援が必要。

2 市の対応方針

高齢者の生きがいがづくりや健康づくりの観点から、引き続き、趣味講座を実施していく必要があるため、春日山荘の老朽化に伴う代替施設を確保する。

※平成30年度の事務事業評価

「老人福祉センター春日山荘補助金」について…「高齢者の趣味活動を継続するための代替の場を確保した上で、補助金の在り方を整理する」という評価結果。

3 これまでの主な取組経過

<平成26年度> 「春日山趣味の家の講座」の移管

- ・市が設置・運営していた「春日山趣味の家の講座」を春日山荘に移管し、試行実施。（平成26年度の1年間の試行後、安定した運営が見込まれる場合は、平成30年度まで継続する）

<平成30年度> 事務事業評価による評価結果

- ・「高齢者の趣味活動を継続するための代替の場を確保した上で、補助金の在り方を整理」

<令和元年度> 受講生との意見交換や春日区地域協議会への説明（右表参照）

- ・全34講座の受講生（858人）と代替の場と趣味活動の在り方について意見交換
→「趣味講座の継続を希望（約95%）」、「自主活動化し市の支援を希望（約5%）」
→講座の継続を希望すると回答した人のうち、「春日山荘の老朽化により代替施設での継続を希望（約90%）」、「現在地での継続を希望（約10%）」
- ・春日区地域協議会に対し、講座の移転と代替施設検討の必要性について説明

<令和2年度> 「市民いこいの家」の温浴機能を廃止する方針が示される（公の施設の適正配置計画）

<令和3年度> 受講生に対する説明と意見交換、現地見学会を実施（右表参照）

- ・「市民いこいの家」の温浴機能の廃止を前提に、講座を移転する方針について受講生に説明等を実施
- ※直江津区地域協議会（令和4年1月18日）で「市民いこいの家」の温浴機能廃止（別紙参考資料1～3）について、支障ありとの答申

<趣味講座の受講生への説明等>

年月	実施内容	説明
R元年 6月・7月	受講生との意見交換会	全34講座の受講生（858人）と、春日山荘の趣味講座の代替施設や将来的な趣味活動の在り方を検討するため意見交換を実施
R2年 12月	代表者会議との協議	代表者から、講座存続のため代替施設を確保するよう改めて要望あり →代替施設について、令和3年度中に目途をつけると回答
R3年5月	社協と協議	春日山荘の趣味講座を市民いこいの家に移転することについて確認
6月	趣味講座の代表者会議との第1回意見交換会	趣味講座の移転先を市民いこいの家とすることについて、代表者会議7講座8人と意見交換 →移転は止むを得ない。各講座の事情をしっかりと把握して対応してほしい
7月	代表者会議との第2回意見交換会（現地見学会）	代表者会議7講座8人と市民いこいの家を見学 →全員が移行するのは難しいが、移転する場合は、人数維持のため直江津地区でのPRを希望するとの意見
7・8月	受講生との第1回意見交換会	27講座約100人の講師及び受講生に対し、市民いこいの家への移転について市の考えを説明 →高田西趣味の家への移転より、市民いこいの家を希望する講座が多数
9月	受講生の現地見学会	希望があった9講座約60人が、市民いこいの家を見学 →市民いこいの家での講座実施に向けて、使い勝手を高めるための建設的な要望・提案が多数
	受講生との第2回意見交換会	・希望があった14講座の講師及び受講生と意見交換 →市民いこいの家（一部、高田西趣味の家）への移転について、全ての講座に対し説明し、概ね了承を得る

<春日区地域協議会への説明等>

年度	内容
R元 年度	【6月26日 第5回地域協議会】 社協が春日山荘の利用者に対し、施設の閉鎖を示唆しているとの情報があるため、地域協議会での説明を求める要望あり
	【7月17日 第6回地域協議会】 高齢者支援課が、代替施設について、場所や利用者の状況を確認しながら検討している旨を説明
	【10月23日 第9回地域協議会】 高齢者支援課が、代替施設を探しているが具体的な選定に至っていない旨を説明（社協同席）
	【11月22日 第10回地域協議会】 事務局に対し、代替施設が決まった際には説明を求めるという意見あり
R2 年度	市が春日山荘の代替施設の検討を行ったものの適当な施設が選定できず。 令和2年度は、地域協議会への説明は行っていない。
R3 年度	【1月25日 第13回地域協議会】 ・高齢者支援課が「春日山荘の趣味講座の市民いこいの家への移転について」説明する予定にしていたが、1月18日の直江津区地域協議会で「市民いこいの家の温浴機能の廃止及びその後の利活用について（諮問）」に対して「支障あり」の答申を受けたことから説明できず。 ・事務局から計画が定まった時点で報告する旨を説明

市民いこいの家の温浴機能の廃止及びその後の利活用について

直江津区地域協議会資料
 令和4年1月18日(火)
 福祉部 福祉課、高齢者支援課

1 市の方針

市では、子どもや孫の世代への将来の財政負担を軽減するため、公の施設の適正配置を進めています。その中で、「市民いこいの家」につきましては、令和3年度末をもって温浴機能を廃止することとしています。

その後は、老朽化している春日山荘で実施している「高齢者の趣味講座」の一部を移転し、『高齢者の趣味活動の場』として活用するとともに、地域の皆さんによる“作品展示の場”や無料でお使いいただける“共有スペース”を設けるなど、地域の皆さんの交流の場や気軽に立ち寄りいただける憩いの場としての活用を考えています。

2 温浴機能廃止後の利活用について

(1) 新しい「市民いこいの家」の機能

【高齢者の趣味講座】

春日山荘で実施している「高齢者の趣味講座」の一部を移転

【趣味活動の作品展示の場】

「直江津ふれあい館（直江津小学校内）」で実施している高齢者の創作活動の発表（作品展示）の場を移転

【貸 館】

高齢者の趣味講座の空き時間は貸館として活用

【共有スペース】

無料の共有スペースを設け、地域の皆さんが気軽に立ち寄り、交流できる憩いの場として活用

(2) 開館時間等の予定

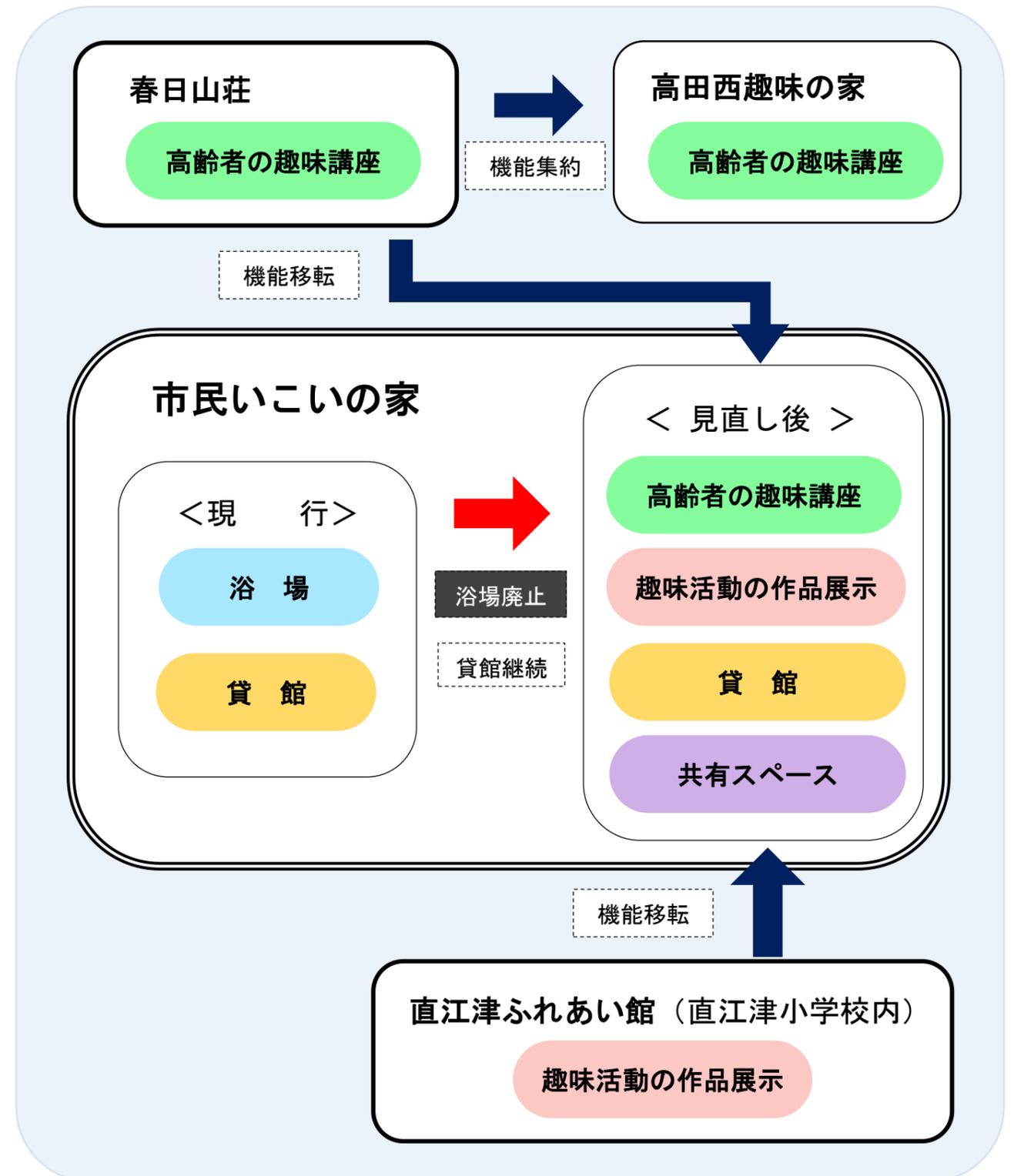
開館時間：毎週月曜日から土曜日の午前9時から午後6時まで

休 館：毎週日曜日・祝日、年末年始

3 今後のスケジュール（予定）

- ・ 令和4年1月：地域協議会へ諮問
- ・ 令和4年3月：市議会定例会へ提案
- ・ 令和4年3月末：温浴機能を廃止
- ・ 令和4年度中：施設の改修工事を実施、施設は休館とする
- ・ 令和5年4月：リニューアルオープン

4 取組イメージ



これまでの経過

市民いこいの家

月	実施内容	備考
令和2年 7月	利用実態調査	利用頻度、滞在時間、利用理由、他施設の利用状況等を調査 ※自宅に風呂がない人はいなかった
8月	直江津区地域協議会 説明（1回目）	・市民いこいの家の運営状況を説明し、令和3年度をもって温浴機能を廃止する方向で検討していることを説明
9月	直江津区地域協議会 説明（2回目）	・利用実態調査の結果と今後の収支見込を含め、改めて市の方針を説明
	石橋一・二丁目町内 会長、東雲町一・二丁 目町内会長へ説明	・町内会長へ温浴機能の廃止方針を説明
9月～ 12月	温浴利用者へ説明	・71人（1週間の実利用者）へ「施設の運営状況を説明し、令和3年度末をもって温浴機能の廃止を検討している」ことを説明
12月	市民団体から要望書 提出（12/24）	・「市民いこいの家を考える会」が温浴機能の存続を求める要望書を提出 【市の対応】 ・安定した市政を次の世代につないでいくために、「公の施設の適正配置」を進める必要があることを説明し、引き続き、利用者や市民に温浴機能の廃止について、理解と納得を深めていただけるよう丁寧な対応に努めることを回答
11月	市民団体から要望書 提出（11/29）	・「市民いこいの家を考える会」が、浴室存続に関する要望書と1,511人分の署名を提出 【市の対応】 ・人口減少の現状を踏まえた中で、安定した市政を次の世代につないでいくため「公の施設の適正配置」の必要性を説明し、浴室の廃止後は、春日山荘の趣味講座を市民いこいの家に移転したうえで、高齢者等の憩いの場として活用していくことを説明 ・引き続き、地域の皆さんに浴室廃止と今後の活用方法について説明し理解していただけるよう、丁寧な対応に努めることを回答
12月	石橋一・二丁目町内 会、東雲町一・二丁目 町内会へ説明	・関係町内会の役員へ市の考えを説明 12月9日：東雲町一・二丁目町内会 12月17日：石橋一・二丁目町内会 ・12月下旬から、町内会住民に対し、文書回覧により市の方針を説明
	直江津区地域協議会 説明	・12月21日、地域協議会へ温浴機能廃止後の施設の活用について説明
	施設利用者へ説明	・施設利用者（温浴利用者及び貸館利用者）へ市の考えを説明 （温浴利用者195人、貸館利用17団体）

春日山荘趣味講座

月	実施内容	備考
令和3年 5月	社会福祉協議会（施設所有者・運営主体）と協議	・春日山荘の老朽化に伴い、春日山荘における趣味講座を廃止し、その機能を市民いこいの家に移転することについて、双方で確認
6月	趣味講座の代表者会議との第1回意見交換会	・春日山荘趣味講座の移転先を市民いこいの家とすることについて、代表者会議7講座8人と意見交換
7月	代表者会議との第2回意見交換会（現地見学会）	・代表者会議7講座8人と市民いこいの家を見学
7月～ 8月	受講生との第1回意見交換会	・27講座約100人の講師及び受講生に対し、市民いこいの家への移転について市の考えを説明
9月	受講生の現地見学会	・希望があった9講座約60人が、市民いこいの家を見学
	受講生との第2回意見交換会	・希望があった14講座の講師及び受講生と意見交換 ・市民いこいの家（一部、高田西趣味の家）への移転について、すべての講座から了承を得る

直江津ふれあい館

月	実施内容	備考
令和2年 8月	直江津区地域協議会説明	・レインボーセンターへ機能移転する方針を説明
令和3年 8月	管理受託先である住吉町町内会へ説明	・町内会長及び管理人に対し、市民いこいの家への移転について説明。町内会から了承を得る
	管理人の現地見学会	・管理人3人に対し、市民いこいの家での展示場所について現地説明
10月	利用団体へ現地見学会を兼ねた説明	・11団体に対し、市民いこいの家での展示場所について説明。すべての団体から移設について了承を得る

市民いこいの家の改修について

◆主な改修内容

①陶芸用作業スペースの整備

男女の浴室は、段差を解消し、陶芸用の電動ろくろや釉薬ゆうやくを扱う部屋として使用できるようにします。また、女子浴室から外に出ることができるよう出入口を新設の上、屋外に陶芸電気窯を設置します。

②創作室（陶芸や水彩画など、水を扱う教室用）の設置

休憩処から脱衣所までの壁を撤去し、新たに1部屋を整備します。

③共有スペースの設置

机とイスを設置し、地域の皆さんや来館者が集えるフリースペースとします。

④展示スペースの整備

1階談話ロビーを作品展示スペースとします。

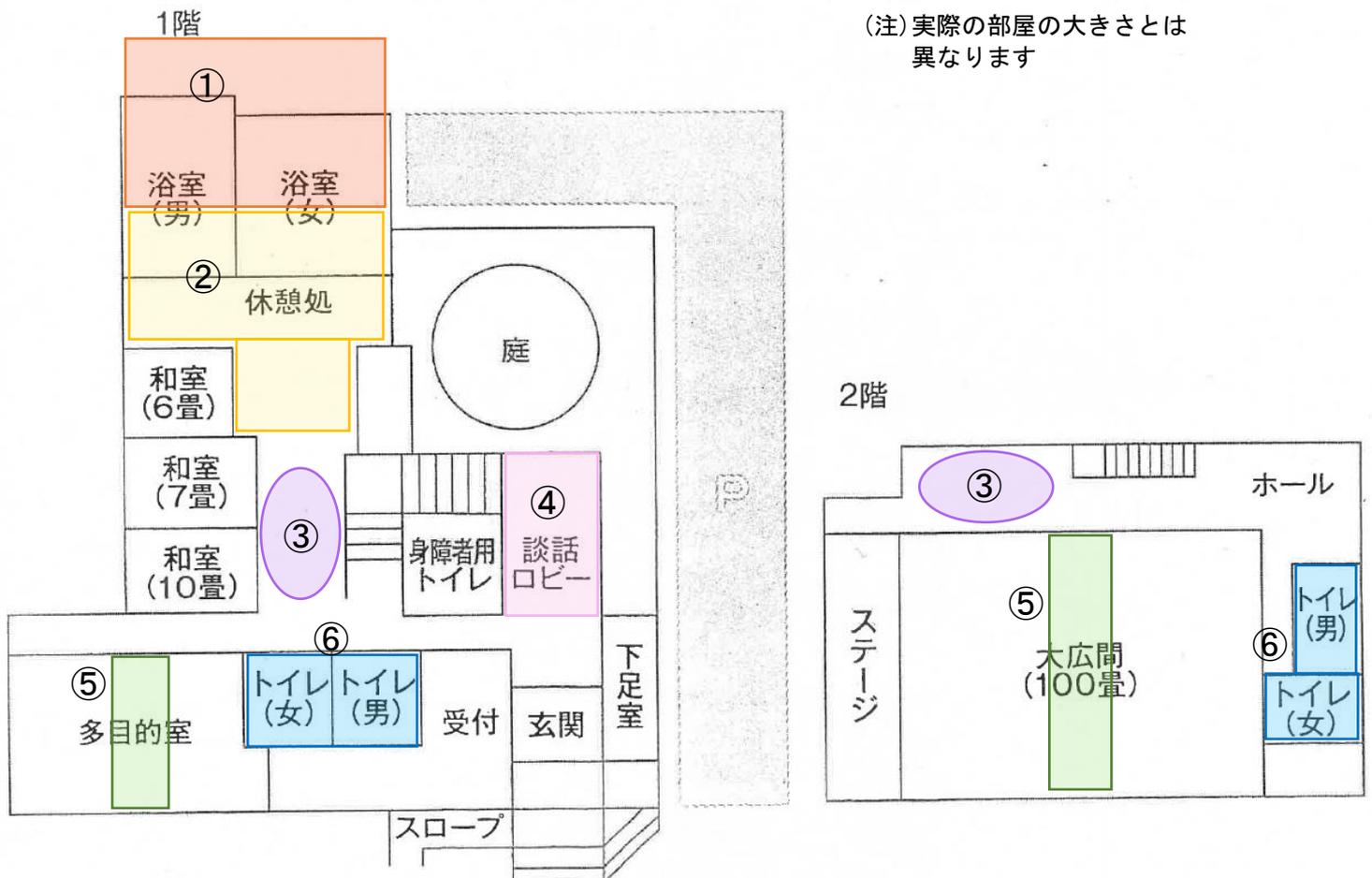
⑤間仕切りの新設

1階多目的室及び2階大広間に可動式の間仕切りを設置し、同時に2つの団体が使用できるようにします。

⑥トイレの洋式化

1階・2階のトイレにある和式便座を洋式化します。

【現在の市民いこいの家 平面図】



令和4年度【春日区】地域活動支援事業 審査結果一覧

参考資料

地域活動資金の配分枠：
10,700,000 …①

※配分残額は、補助希望額を満額採択した場合の金額。

順位	事業番号	事業名	提案団体名	補助希望額 ② (単位:円)	評価結果							減額の場合		審査・採択		【参考】 削減率 (③-②)/②	【参考】 配分残額 ①-③ (単位:円)	
					優先採択方針 適合性判定	共通審査基準による採点					計	その内容	額	採否	採択額 ③ (削減後補助額) (単位:円)			
						公益性	必要性	実現性	参加性	発展性								
1	春-05	上杉軍出陣式維持保存事業	一義会	380,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	4.1 (5) (3)	4.0 (5) (3)	4.1 (5) (3)	3.8 (5) (3)	3.9 (5) (3)	19.9		0	希望額で採択	380,000	0.0%	10,320,000
2	春-03	御館リバーサイド環境美化事業	大豆町内会	167,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	4.0 (5) (3)	3.7 (4) (3)	4.2 (5) (3)	3.7 (5) (3)	3.3 (4) (3)	18.9		0	希望額で採択	167,000	0.0%	10,153,000
	春-08	春日山城跡環境整備(春日山城跡周辺環境整備)事業	春日山城跡保存整備促進協議会	2,200,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	4.2 (5) (3)	3.7 (5) (3)	4.0 (5) (3)	3.3 (5) (2)	3.7 (5) (3)	18.9		0	希望額で採択	2,200,000	0.0%	7,953,000
4	春-11	春日区交通安全事故減少のための交通安全意識の啓発と交差点路面表示の修繕事業	上越交通安全協会春日支部	539,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	4.0 (5) (3)	4.0 (5) (3)	3.9 (5) (3)	3.6 (5) (2)	3.3 (5) (3)	18.8		0	希望額で採択	539,000	0.0%	7,414,000
	春-07	安全に安心して暮らせるまちづくり事業(防犯パトロール実施事業)	上越市春日山町3丁目町内会	293,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.9 (5) (3)	3.8 (5) (3)	4.0 (5) (3)	3.7 (5) (3)	3.4 (5) (3)	18.8		0	希望額で採択	293,000	0.0%	7,121,000
6	春-06	中門前3丁目・避難訓練継続事業	中門前3丁目 助っ人隊	545,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.9 (5) (3)	3.7 (5) (3)	3.7 (5) (3)	3.8 (5) (3)	3.3 (5) (3)	18.4	資器材の1/2減	▲273,000	減額して採択	272,000	-50.1%	6,849,000
	春-19	大学前町内会自主防災活動推進事業	大学前町内会	400,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.9 (5) (3)	3.7 (5) (3)	3.7 (5) (3)	3.7 (5) (3)	3.4 (5) (3)	18.4	資器材の1/2減	▲201,000	減額して採択	199,000	-50.3%	6,650,000
8	春-02	地域への愛着「春日愛」の育成事業	春日地域青少年育成会議	561,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.6 (5) (2)	3.2 (5) (2)	3.8 (5) (2)	3.9 (5) (3)	3.6 (5) (2)	18.1		0	希望額で採択	561,000	0.0%	6,089,000
9	春-10	高志地域ふれあいネットワーク事業	高志小学校後援会	280,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.9 (5) (3)	3.0 (4) (1)	3.7 (5) (2)	3.4 (5) (1)	3.9 (4) (1)	17.9		0	希望額で採択	280,000	0.0%	5,809,000
10	春-04	高齢者の健康づくり活動(まちづくり)と地域交流事業	いきいき春日野	300,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.6 (5) (3)	3.3 (4) (3)	3.8 (5) (3)	3.4 (5) (3)	3.3 (4) (3)	17.4	健康体操等の減	▲120,000	減額して採択	180,000	-40.0%	5,629,000
	春-13	越後謙信さき酒マラソン事業	上越商工会議所青年部	1,000,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.2 (4) (2)	3.0 (4) (2)	3.3 (5) (2)	4.0 (5) (3)	3.9 (4) (2)	17.4	会場設営費・会場費・移動費の1/2減	▲575,000	減額して採択	425,000	-57.5%	5,204,000
	春-21	謎解き 謙信公の仕掛けた謎を解説せよ! 事業	春日商工振興会	1,000,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.6 (5) (2)	2.9 (4) (2)	3.4 (5) (3)	3.8 (5) (2)	3.7 (4) (2)	17.4	景品費用及び広告関係費(ポスター、のぼり、新聞広告)の減	▲413,000	減額して採択	587,000	-41.3%	4,617,000
13	春-12	中学生の音楽による地域の絆づくり支援事業	春日中学校後援会	3,385,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.6 (5) (2)	3.1 (5) (2)	3.6 (5) (3)	3.6 (5) (3)	3.3 (5) (2)	17.2	優先順位の低い楽器の減	▲1,169,000	減額して採択	2,216,000	-34.5%	2,401,000
14	春-15	小学生の金管楽器演奏による地域の絆づくり支援事業	上越市立春日小学校後援会	770,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.4 (5) (2)	3.0 (5) (2)	3.6 (5) (3)	3.6 (5) (3)	3.4 (5) (2)	17.0		0	希望額で採択	770,000	0.0%	1,631,000
15	春-09	春日山モルツ ミニバスケットボールクラブ事業	春日山モルツ	769,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.0 (4) (2)	2.8 (4) (2)	3.6 (5) (2)	2.8 (4) (1)	3.4 (4) (2)	15.6	交通費の1/2減 物品の1/2減	▲324,000	減額して採択	445,000	-42.1%	1,186,000
16	春-22	春日地区 地域子育て支え合い事業	食育サークルmamma	83,000	○:8人 ×:1人	平均点 (最高点) (最低点)	3.0 (4) (2)	2.8 (3) (2)	3.6 (4) (3)	2.8 (3) (2)	3.2 (3) (2)	15.4	材料費、印刷代の減 研修費の1/2減	▲24,000	減額して採択	59,000	-28.9%	1,127,000
17	春-18	春日区幼年野球育成事業	高志ビクトリーズ	428,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.0 (4) (2)	2.6 (3) (2)	3.7 (5) (3)	2.7 (4) (1)	3.2 (3) (2)	15.2	大会参加費の減 物品の1/2減	▲197,000	減額して採択	231,000	-46.0%	896,000
	春-20	高志小学校区 少年野球育成事業	高志少年野球	162,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.0 (4) (2)	2.6 (3) (2)	3.6 (5) (3)	2.7 (4) (1)	3.3 (3) (2)	15.2	物品の1/2減	▲82,000	減額して採択	80,000	-50.6%	816,000
19	春-16	春日野デュークス幼年野球育成事業	春日野デュークス	219,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.0 (4) (2)	2.6 (3) (2)	3.6 (5) (3)	2.7 (4) (1)	3.2 (3) (2)	15.1	物品の1/2減	▲110,000	減額して採択	109,000	-50.2%	707,000
20	春-17	春日野少年野球育成事業	春日野少年野球	162,000	○:9人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	2.9 (4) (2)	2.6 (3) (2)	3.4 (5) (3)	2.7 (4) (1)	3.2 (3) (2)	14.8	物品の1/2減	▲82,000	減額して採択	80,000	-50.6%	627,000
21	春-14	土橋こども育成事業	土橋町内会 子ども会	288,000	○:8人 ×:1人	平均点 (最高点) (最低点)	3.0 (4) (2)	2.4 (3) (1)	3.2 (4) (3)	2.9 (4) (2)	3.2 (3) (1)	14.7		0	希望額で採択	288,000	0.0%	339,000
22	春-23	春日区若者活性化事業	上越若者みらい会議	318,000	○:8人 ×:1人	平均点 (最高点) (最低点)	2.9 (4) (2)	2.3 (4) (1)	2.8 (3) (1)	3.0 (5) (1)	3.3 (4) (1)	14.3	会場費の減	▲121,000	減額して採択	197,000	-38.1%	142,000
23	春-01	グラウンド・ゴルフで地域の活性化を図る事業	藤新田寿会	130,000	○:8人 ×:1人	平均点 (最高点) (最低点)	3.1 (4) (2)	2.7 (4) (1)	3.1 (4) (2)	2.4 (3) (2)	2.8 (4) (1)	14.1	クラブ等ケース類の減	▲16,000	減額して採択	114,000	-12.3%	28,000
補助希望額 合計				14,379,000											採択額 合計	10,672,000		